



進路だより

2024年 3月発行

速報 祝!! 海技試験筆記合格

海洋技術科 4級海技士(航海)

海洋産業科 4級海技士(機関)

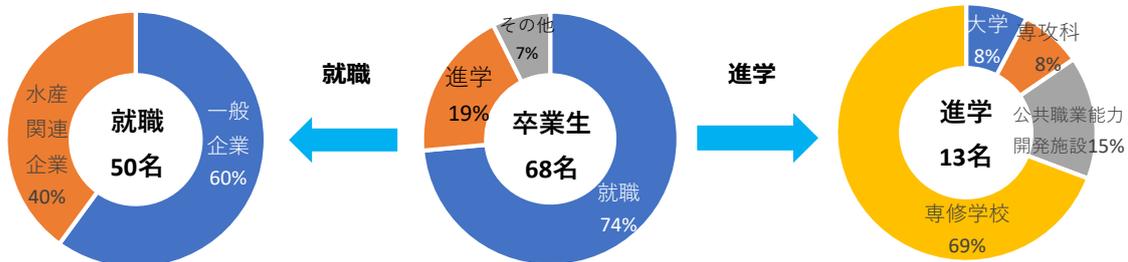
昨年度に引き続き2名の生徒が海技試験(筆記)に合格しました

1 はじめに

近年の教育現場ではICT教育の重要性が高まっており、パソコン、タブレット等を活用した学習が拡大しています。そのような社会情勢の変化に伴い、進路指導部でも、従来の紙媒体での情報のやり取りを抜本的に見直し、書類作成に要する時間を効率化し、「求人票」「受験報告書」「進路の手引き」「進路情報」等のICT化を昨年度より進めています。ICTの活用により、エビデンスに基づく進路情報の提供を促進することに繋がり、生徒も効果的に進路活動を進めることが可能になります。今後、進路指導部としては生徒一人ひとりの進路実現に向けたICTの環境をより一層整備していきたいと思っております。

2 進路状況

今年度の3年生の進路状況は、下のグラフのとおり、就職7割、進学2割という比率でした。就職については1回目の就職試験で、約9割の生徒が希望した企業から内定を頂き、そのうちの約4割の生徒が、水産関連企業へ就職することになりました。進学については、4年ぶりに国立大学へ進学をしました。本校からは初めて宮崎大学農学部海洋生物環境学科に合格しました。また海技士免状取得を目指す国立海上技術短期大学校や専攻科への進学も増加しました。たくさんの人々に支えられ進路実現ができた事実を忘れずに頑張っていってほしいと思っております。



3 進路決定までの流れ

①就職

- 7月1日 求人票受付開始
- 7月 求人票の検討 3者面談 会社見学
- 8月 志望先決定 校内選考会 履歴書の作成 面接指導
- 9月1日 応募書類発送
- 9月16日以降 入社試験

※公務員希望者は、テキストを購入して勉強を始めましょう。無料の公務員講座などもあります。

②進学

- 4月～6月 希望する学校の検討(学部、学科、受験方法)
- 6月～8月 オープンキャンパスへの参加 ※参加が受験の条件になっている場合があります。
- 8月～9月 志望校の決定と入学願書の作成
- 9月～10月 入学願書の提出

受験先のホームページを必ず確認をして下さい。※詳しくは、**進路の手引き**を見て下さい。

4 第3学年の担任の先生方より (1. 2年生へ向けてのアドバイス)

海洋技術科3年担任
舟橋 拓矢 先生



1. 自分を見つめ直すこと
自分がどういう人間なのかが分からないと先生や保護者の人はもっとわかりません。この機会に自分の生活を見つめ直して今後の進路に生かしてみましよう。
2. 保護者や担任の先生と話すこと
最終的にどういった進路にするのか決めるのは自分ですが、人生の先輩方々からのアドバイスはとても有益なものが多いです。密に連絡を取りましよう。
3. 計画を立て実行すること
書類の提出期限や面接練習の日程調整など数多くのことが短期間で押し寄せてきます。早い段階で予定や期限を設定し考えて行動できるようにしましよう。
4. 真剣にやること
あとになって絶対に後悔しないように真剣に就職・進学試験に向き合いましよう。学校や会社の情報収集から面接練習や志望の動機に至るまで納得いくまで全力でやること

海洋食品科3年担任
渡邊 明日香 先生



1. 遅刻・欠席を減らすこと
企業の人は見ております。進学の場合も推薦などの基準になります。どの進路になっても対応できるようにしておきましよう。
2. あいさつをしましよう
あいさつはコミュニケーションの基本です。笑顔で元気にできると最高です！
3. 成績向上を目指して
成績は観点別に評価されます。まずは授業にでる。提出物は出す。期限内に課題を行う。最低限はできるようにしていきましよう。
4. 進路について調べてしましよう。
時間は限られております。余裕のあるうちにHPや周りの人に聞いてしましよう。3年生になってからでは遅いです。

海洋産業科3年担任
榎原 祥孝 先生



◎就職試験は何で行われるのか(面接、筆記試験などいろいろな方法があります。)
進学も同様に試験方法がありますので確認しましよう
自分の将来について少しずつ向き合っていましよう🌸

自分自身の将来は自分で決める必要があります。その責任は誰も取ってくれませんが、自分でとるしかないのです。それでも、先生方は皆さんの将来が少しでも良いものになるように、いつでも相談に乗ってくれますし、必要なことを教えてください。大事なことは皆さん自身が聞いてくるかどうかです。いつまでも進路を決めようとしなない、わからないことを聞こうともしない、やる気がない状態では先生方もアドバイスのしようがありません。皆さんが真剣に、将来に向き合って取り組んでいれば先生も親も協力してくれるでしょう。私もいつでも相談に乗りますので、ぜひ職員室に来てください。